



リモートアクセス VPN ソフトウェア

Verona Client for Mac ユーザーズガイド

1. 概要

Verona Client を Mac にインストールすることにより、外出先などから Verona Edge へ接続することができます。

2. 対象プラットフォーム

➤ macOS Monterey 12.x

Ventura 13.x

Sonoma 14.x

※ Apple Silicon(M1 等)チップ搭載の Mac 端末では、バージョン 3.1.0 以降をご使用ください。

3. 動作環境

- メモリ：
2GB 以上 (推奨)
- ディスク：
600MB 以上
- ソフトウェア：
 - ・ Java SE Development Kit
 - ・ tun/tap driver for Mac OS X (バージョン 3.0.1 以前)

OS X 10.11.x 以前のバージョンから OS をアップグレードした場合、インストール済みの Java は削除されます。そのため、インストール済みの Verona Client は起動しなくなりますので、「4. Verona Client のインストール」の手順②に従って、Java 実行環境の設定をしてください。

4. Verona Client のインストール

Verona Client の新規インストールまたは、バージョンアップは、以下の手順で実施します。

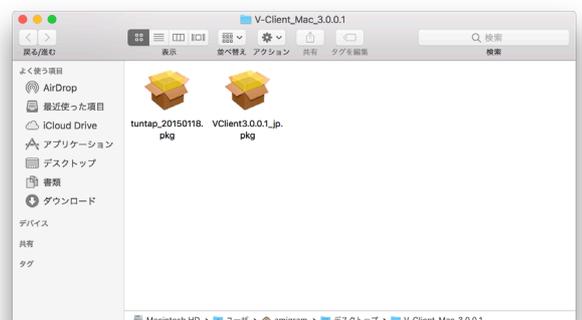
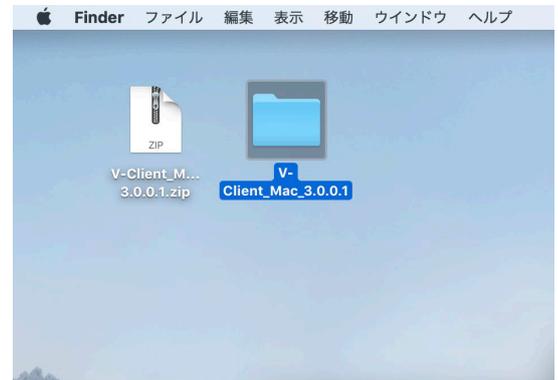
※ 管理者権限を持つアカウントを使用する必要があります。

- ・ 新規インストール(バージョン 3.0.1 以前) : 手順①から実施
- ・ 新規インストール(バージョン 3.1.0 以降) : 手順②から実施
- ・ バージョンアップ : 手順③から実施

① Verona Client を利用できるようにするため、事前に「tun/tap driver for Mac OS X」ソフトウェアをインストールします。

なお、Mac 端末のセキュリティ設定等により、初回インストールは失敗する場合があります。その場合は、手順①を再度実施します。

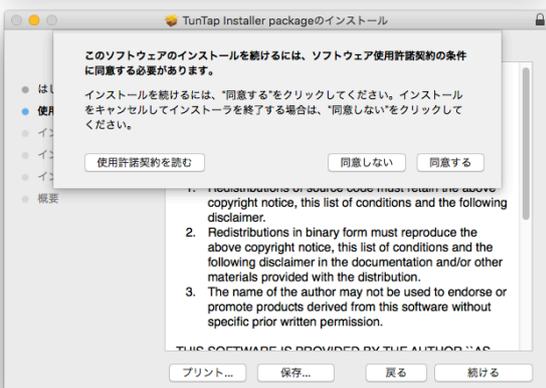
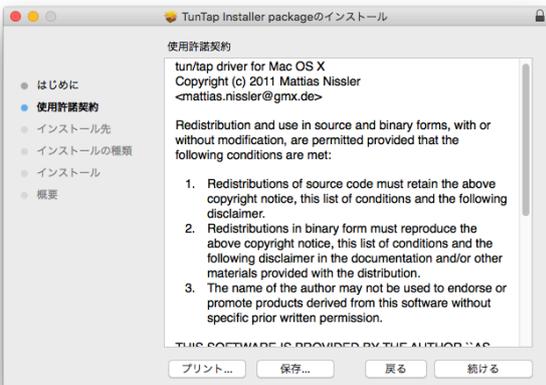
- 弊社サポートよりご案内の URL からダウンロードした zip フォルダをダブルクリックし、展開します。展開したフォルダ内にある「tuntap_20150118.pkg」をダブルクリックし、tun/tap driver for Mac OS X のインストーラを起動します。



- インストーラが起動したら、「続ける」をクリックします。



- 使用許諾契約が表示されますので、「続ける」→「同意する」の順にクリックします。



- 管理者権限のパスワードを入力し、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。

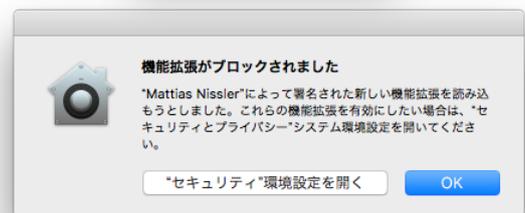


- インストール中、「拡張機能がブロックされました」というポップアップが表示された場合は、「「セキュリティ」環境設定を開く」をクリックし、システム環境設定画面を表示します。

※ 以下のポップアップやエラーメッセージはOS側のセキュリティ設定によるものです。

- 「セキュリティとプライバシー」画面が表示されましたら、画面下部の「“Mattias Nissler”のシステムソフトウェアの読み込みがブロックされました」の通知に対して「許可」をクリックします。(ご利用環境によっては、左下の鍵マークをクリックの上、管理者権限のパスワードを入力する必要があります。)

「許可」をクリック後の以降の操作は、OSバージョンをご確認の上、対応する内容を実施してください。



(macOS 11.x 以降)

- 「新しいシステム拡張機能を使用するには再起動が必要です」というポップアップが表示されますので、「再起動」を選択します。

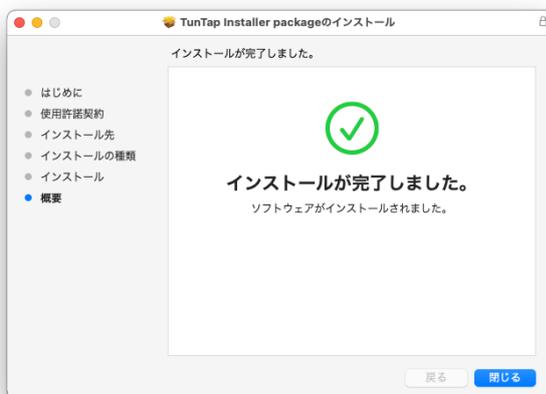


- 「インストールできませんでした」というポップアップが表示されますので、「終了」を選択します。
選択後に端末が再起動されます。



- 端末の再起動後、「tuntap_20150118.pkg」をダブルクリックし、手順①に従い、再度インストールを実行します。

インストールが正常に完了しましたら、「閉じる」をクリックします。



- ② Verona Client を利用するため、事前に Java 実行環境 (Amazon 社が提供する JDK (Corretto 17)) をインストールします。

※ 既に「Corretto 17」以外の Java がインストールされている場合には、この手順は実施不要です。
(推奨は、Amazon 社が提供する JDK (Corretto 17))

※ OS X 10.11.x 以前のバージョンから OS をアップグレードした場合、インストール済みの Java は削除されます。そのため、インストール済みの Verona Client は起動しなくなりますので、以下の手順に従って、Java 実行環境の設定をしてください。

- Amazon 社が提供する JDK (Corretto 17) のダウンロードページにアクセスします。

(Intel チップ端末用)

<https://corretto.aws/downloads/latest/amazon-corretto-17-x64-macos-jdk.pkg>

(Apple Silicon 端末用)

<https://corretto.aws/downloads/latest/amazon-corretto-17-aarch64-macos-jdk.pkg>

- macOS 向けの JDK パッケージファイルをダウンロードします。
- ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。



- 以降の画面で、「続ける」→「インストール」をクリックします。



- Touch ID、管理者ユーザのパスワード入力等により、ソフトウェアのインストールを実行します。

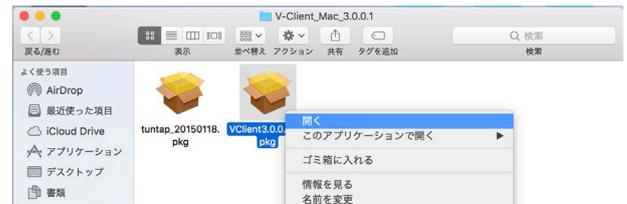


- JDK のインストールが完了しましたら、「閉じる」をクリックします。



- ③ Verona Client のソフトウェア本体をインストールします。

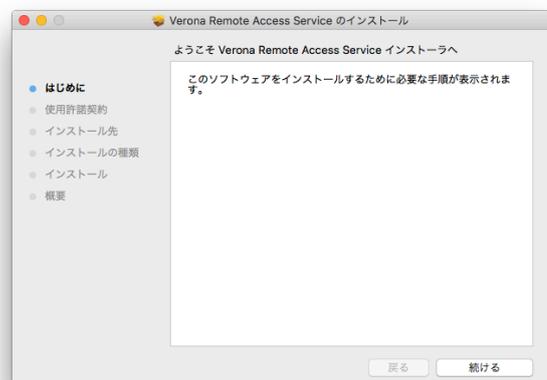
- ダウンロードした zip ファイルを展開します。展開したフォルダ内の「VClient3.x.x.jp.pkg」を、control キーを押しながらクリックし、表示されたメニューから「開く」を選択して、インストーラを起動します。



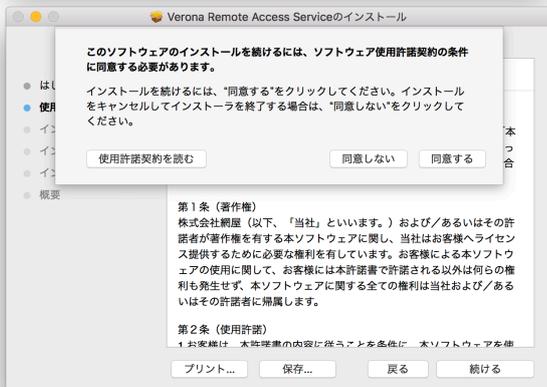
- インストーラ起動時に通知が表示されますので、「開く」をクリックします。



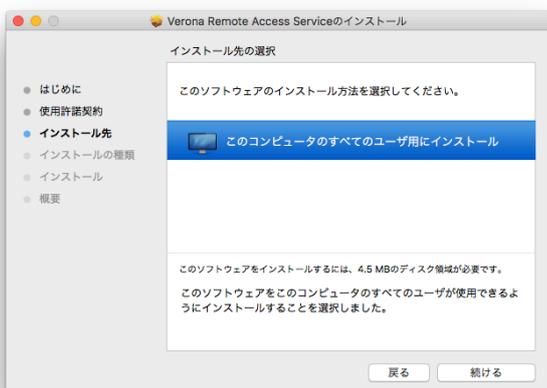
- インストーラが起動したら、「続ける」をクリックします。



- 使用許諾契約が表示されますので、許諾内容に同意いただいた上で、「続ける」→「同意する」の順にクリックします。



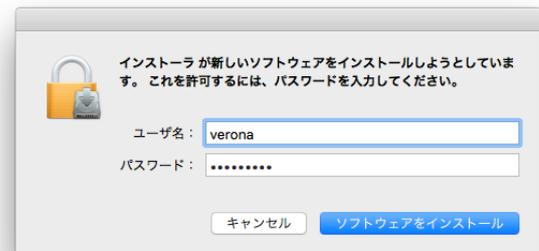
- 「インストール先の選択」が表示された場合は、「このコンピュータのすべてのユーザ用にインストール」を選択し「続ける」をクリックします。



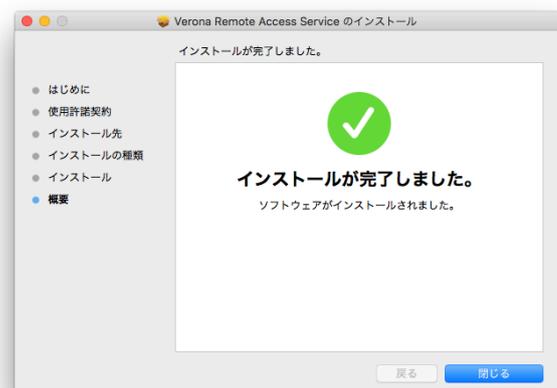
- 「インストール」ボタンをクリックし、インストールを開始します。



- 管理者権限のパスワードを入力し、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。



- インストールが正常に終了しましたら、「閉じる」をクリックします。



- インストールした Verona Client はアプリケーションフォルダに作成されます。アプリケーションフォルダは、Finder を起動し、「よく使う項目」内の「アプリケーション」を選択することで表示できます。



5. Verona Client による Verona Edge への接続

5.1. リモートアクセス設定ファイルおよびシークレットの入手

Verona Edge へ接続するには CAS-Center より発行された「リモートアクセス設定ファイル」と「シークレット」（6桁の数字）が必要です。

- リモートアクセス設定ファイル
例)9999-9999-9999-999999.nvraskey
- シークレット
6桁の数字

5.2. Verona Client の起動

Verona Client を起動します。下記のいずれかの操作をします。
Finder でアプリケーションフォルダを開き「VClient.app」をダブルクリックします。
または、Launchpad を開き「VClient」をダブルクリックします。



<Launchpad 上のアイコン>

- リモートアクセス設定ファイルが登録されていない場合は、次のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



- 「Verona Client」画面が表示されます。
(ユーザ名欄はフルネーム(表示名)ではなく、アカウント名で表示されます。)



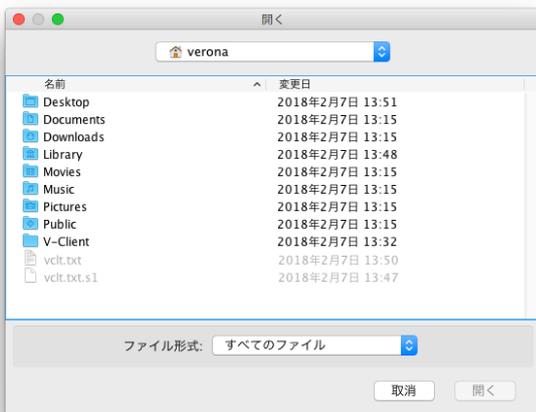
5.3. リモートアクセス接続先の追加

- ▶ リモートアクセス接続先の追加は、リモートアクセス設定ファイルを登録することで行います。「Verona Client」画面の「接続先」メニューから「接続先追加」をクリックします。

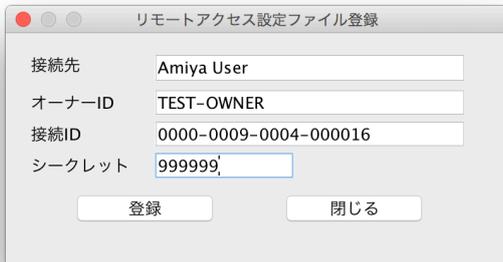


※ 接続中は、「接続先」メニューを選択できません。

- ▶ ウィンドウが表示されますので、リモートアクセス設定ファイル（例:9999-9999-9999-999999.nvraskey）を選択し「開く」をクリックします。



- 「リモートアクセス設定ファイル登録」画面が表示されますのでシークレット（数字6桁）を入力し、「登録」をクリックします。

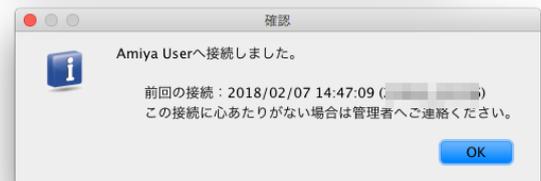


- 「Verona Client」画面に戻り、接続 ID、状態が表示されます。



5.4. Verona Edge への接続と切断

- 「Verona Client」画面で接続先を選択し、「接続」をクリックします。
Verona Edge への接続を開始すると状態が「接続中 XXX.XXX.XXX.XXX」となり、接続が完了すると、「XXXXXXX へ接続しました。」とメッセージが表示されます。「OK」をクリックするとウィンドウが閉じます。
再び「Verona Client」画面を表示するには、タスクトレイにあるアイコンをダブルクリックします。



- Verona Edge からの切断は、接続中に「終了」をクリックします。「XXXXXXX への接続を切断しますか？」の確認メッセージが表示されましたら、「はい」をクリックします。



- 切断処理が完了すると、「XXXXXX への接続が切断されました」というメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると、Verona Client が終了します。



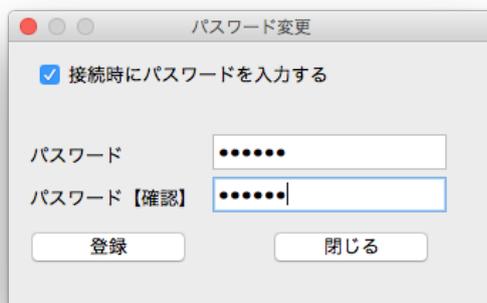
5.5. 接続用パスワードの設定と解除

- Verona Edge へ接続するときのパスワードを設定することができます。「Verona Client」画面の「設定」メニューから「パスワード変更」をクリックします。



※ 接続中は、「パスワード」メニューを選択できません。

- パスワード登録画面の「接続時にパスワードを入力する。」のチェックボックスを ON にし、「パスワード」および「パスワード【確認】」にパスワードを入力します。入力が終わりましたら、「登録」をクリックします。



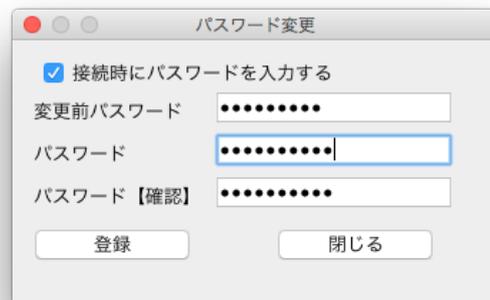
※ パスワードは6文字以上の英数字を入力します。

- 「Verona Client」画面の「パスワード」の背景が白色に変わり、パスワード入力することができます。Verona Edge へ接続するときには設定したパスワードを入力し、「接続」をクリックします。



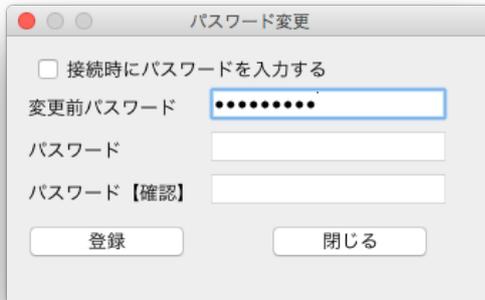
※ 5回連続してパスワードを間違えると接続先全てが削除されます。また、パスワードもリセットされ初期状態に戻ります。

- 設定したパスワードを変更するには、パスワード登録画面を開き、「変更前パスワード」に現在のパスワードを、「パスワード」と「パスワード【確認】」に変更後のパスワードを入力します。入力が終わりましたら、「登録」をクリックします。



※ 変更前のパスワードを5回連続してパスワードを間違えると接続先全てが削除されます。また、パスワードもリセットされ初期状態に戻ります。

- 設定したパスワードを解除するには、パスワード登録画面を開き、「接続時にパスワードを入力する。」のチェックボックスを OFF にし、「変更前パスワード」に現在のパスワードを入力します。入力が終わりましたら、「登録」をクリックします。



※ 変更前のパスワードを5回連続してパスワードを間違えると接続先全てが削除されます。また、パスワードもリセットされ初期状態に戻ります。

- 管理者によって「パスワード強制設定機能」が有効化されていることがあります。その場合、接続時にパスワードが未設定ですと接続時にエラーメッセージが表示されますので、パスワードを設定してから接続してください。



5.6. リモートアクセス接続オプション

・「起動時に接続」

- Verona Client 画面の「起動時に接続」チェックボックスを ON にすると、次回起動時に自動的に Verona Edge への接続を開始します。



※ 「起動時に接続」を有効にした接続先に対して、パスワードは設定できません。

・「自動再接続」

- Verona Client 画面の「自動再接続」チェックボックスを ON にすると、回線断などで Verona Edge への接続が切断した場合に、自動的に再接続をします。



※ 「自動再接続」チェックボックスが ON の時は、接続時のメッセージは表示されなくなります。

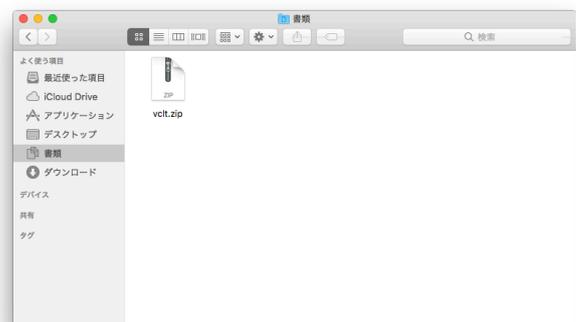
5.7. ログ情報の保存

Verona Client の動作に関する一連のログ情報を出力します。

- 「Verona Client」画面の「設定」メニューから「ログ保存」をクリックします。



- /Users/{ユーザ名}/Documents フォルダに、zip 形式でログファイルが保存されます。Finder を起動し、「よく使う項目」内の「書類」を選択すると、保存されたログファイルが表示されます。



- ※ ログは自動的に取得されています。ログファイルは、デフォルトでは以下の場所に保存されます。
/Users/{ユーザ名}/V-Client/log

5.8. リモートアクセス接続先の削除

- 「Verona Client」画面の「接続先」メニューから「接続先削除」をクリックします。



※ VPN 接続中は、「接続先」メニューを選択できません。

- 接続先一覧で削除する接続先を選択し、「削除」をクリックします。
- 「XXXXXX を削除しますか？」という確認メッセージが表示されましたら、「OK」をクリックします。
- 削除したい接続先の削除ができましたら、「閉じる」をクリックして、画面を閉じます。



6. Verona Client のアンインストール

- Verona Client をアンインストールする場合は、Finder を開き、「アプリケーション」を選択します。
- VClient.app をドラッグし、ゴミ箱アイコンにドロップします。

